

出生前検査認証制度等運営委員会
令和4年度（2022年度）実施状況報告

I. 医療機関

1. 対象施設

認証基幹施設 169 施設

認証連携施設 206 施設

合計 375 施設

回答率：100%

2. 実施状況報告対象期間

基幹施設：2022年7月1日～2023年3月31日

連携施設：2022年9月26日～2023年3月31日

3. 結果

1) 遺伝カウンセリング実施総数および NIPT 受検数

	全体	基幹施設	連携施設
施設数	375	169	206
NIPT に関する遺伝カウンセリングを実施した総数	25,110	15,421/9 か月	9,689/6 か月
NIPT に関する遺伝カウンセリング後に NIPT を受けた妊婦数	20,639	13,061/9 か月	7,578/6 か月
	82.2%	84.7%	78.2%
		4.8/月	2.5/月

別紙【図1】【図2-1】【図2-2】

2) 受検者の年齢分布

全体：総検査数 20,639

～19 歳	20～24 歳	25～29 歳	30～34 歳	35～39 歳	40 歳以上
3	81	1,383	4,662	9,499	5,011
0.0%	0.4%	6.7%	22.6%	46.0%	24.3%

別紙【図3】

3) 検査週数分布

全体：総検査数 20,639

9週以下	10週	11週	12週	13週	14週	15週	16週	17週以上
260	2,012	3,698	5,844	4,638	2,462	1,110	405	210
1.3%	9.7%	17.9%	28.3%	22.5%	11.9%	5.4%	2.0%	1.0%

別紙【図4】

II. 検査分析機関

1. 対象施設

認証検査分析機関 27 機関

回答率：100%

2. 実施状況報告対象期間

2022年7月1日～2023年3月31日

3. 結果

1) 検査総数および国内・国外の検査数の割合

検査分析機関		
医療機関数	378※1	
検査総数	20,726※2	
(初回検査+ 判定保留に よる再検査)	国内	国外
	15,811	4,915
	76.3%	23.7%

※1 医療機関が複数の検査分析機関と契約している場合があり、認証施設総数と異なる。

※2 医療機関と検査分析機関の報告で検査総数が異なる理由は、以下の通りである。

・医療機関では、初回検査数を集計しているのに対し、検査分析機関は初回検査および判定保留による再検査の数も集計しているため。

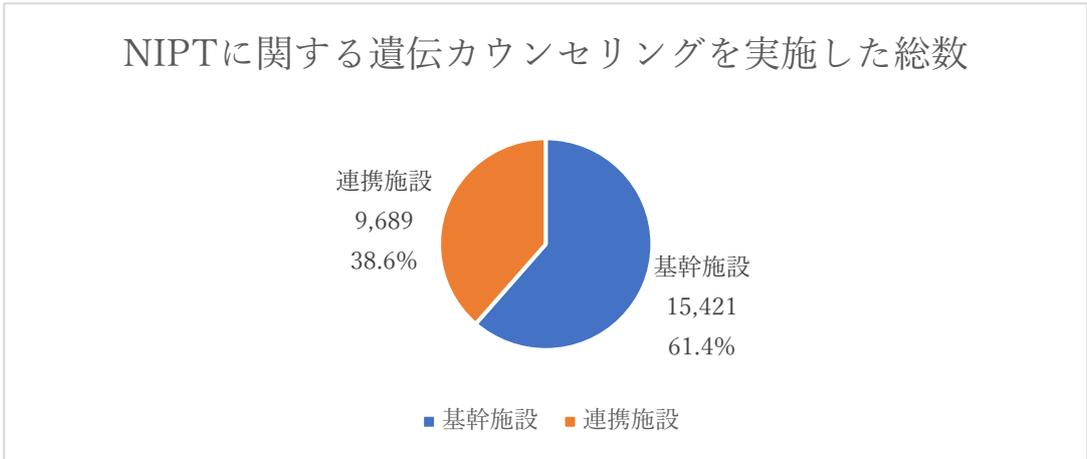
・医療機関では、2022年7月1日以降に遺伝カウンセリングを実施した症例のうち NIPT を受検した数を集計しているのに対し、検査分析機関は遺伝カウンセリング実施日に関わりなく、2022年7月1日以降に検体採取した数を集計しているため。

2) 検査総数および陽性数・陰性数・判定保留数の割合

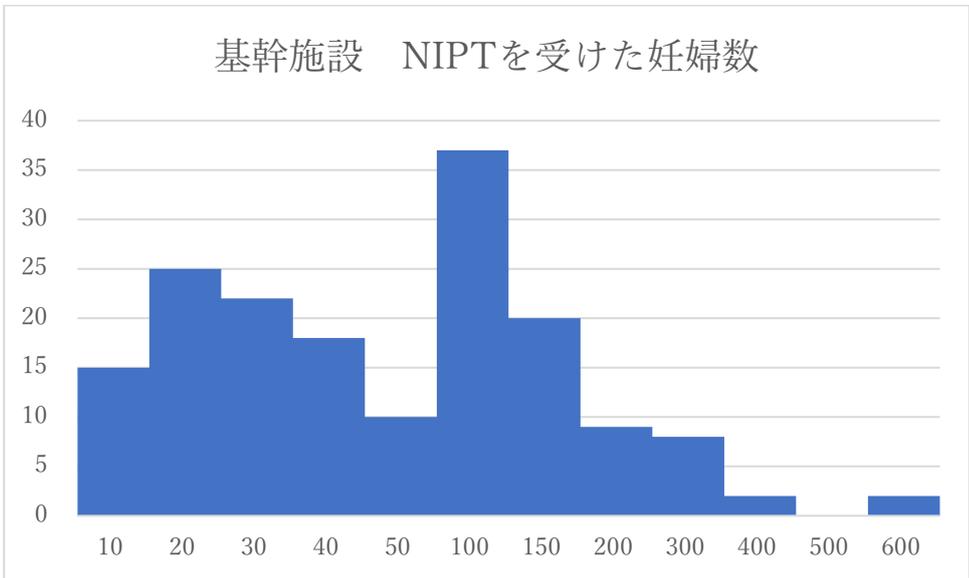
検査分析機関				
医療機関数	378			
検査総数(初回検査+判定保留による再検査)	20,726			
結果	陽性数		陰性数	判定保留数
	318		20,237	171
	1.5%		97.7%	0.8%
	21T	18T	13T	
184	98	36		
57.9%	30.8%	11.3%		

別紙【図5】【図6】

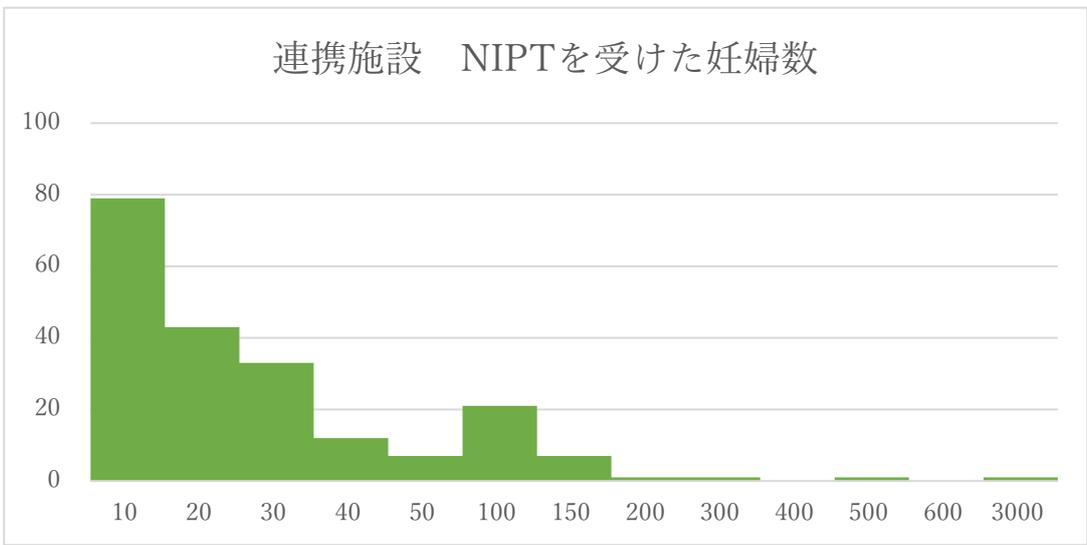
【図1】



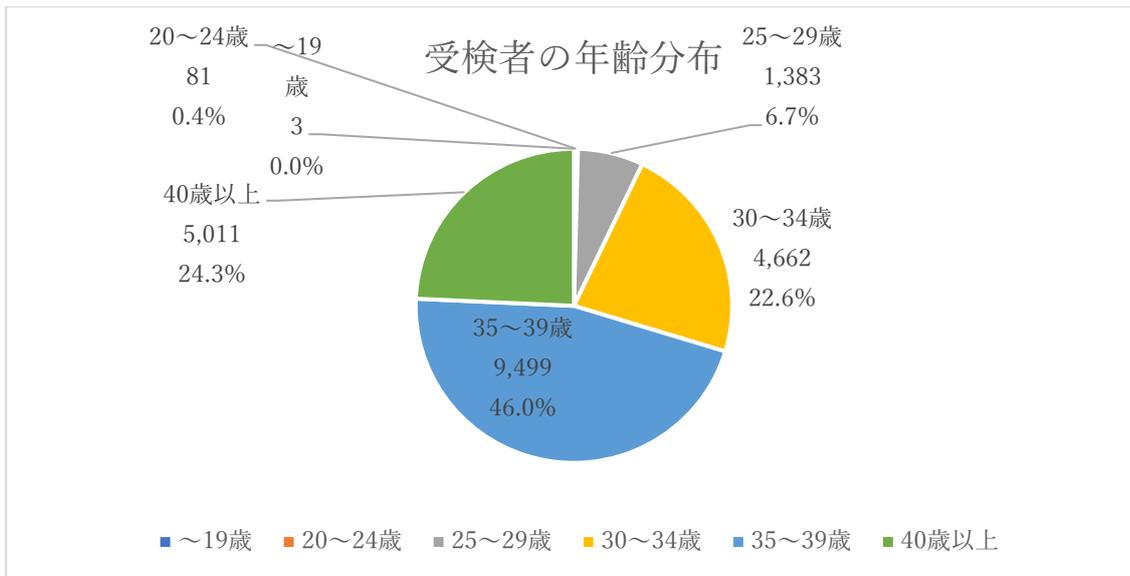
【図2-1】



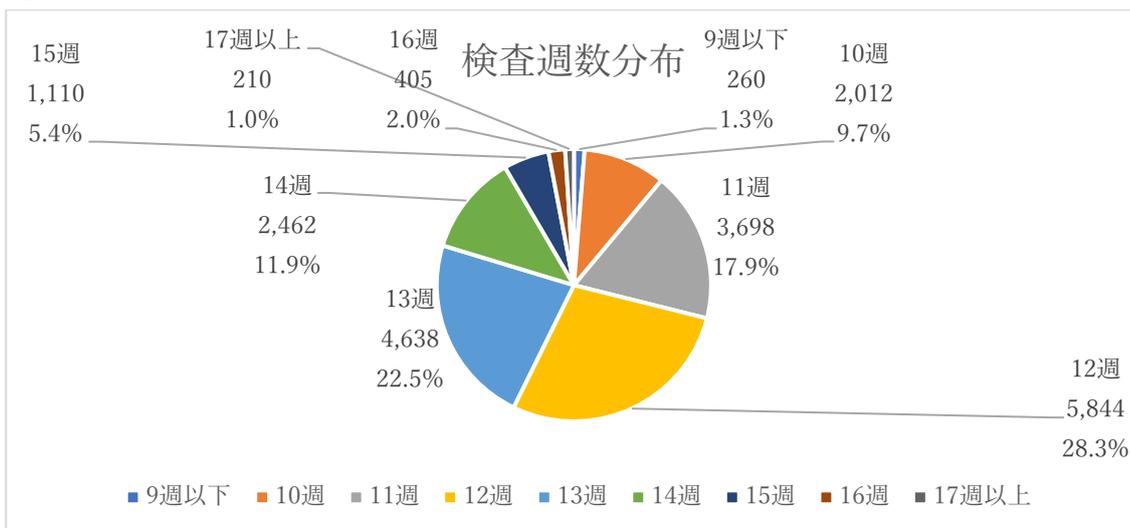
【図2-2】



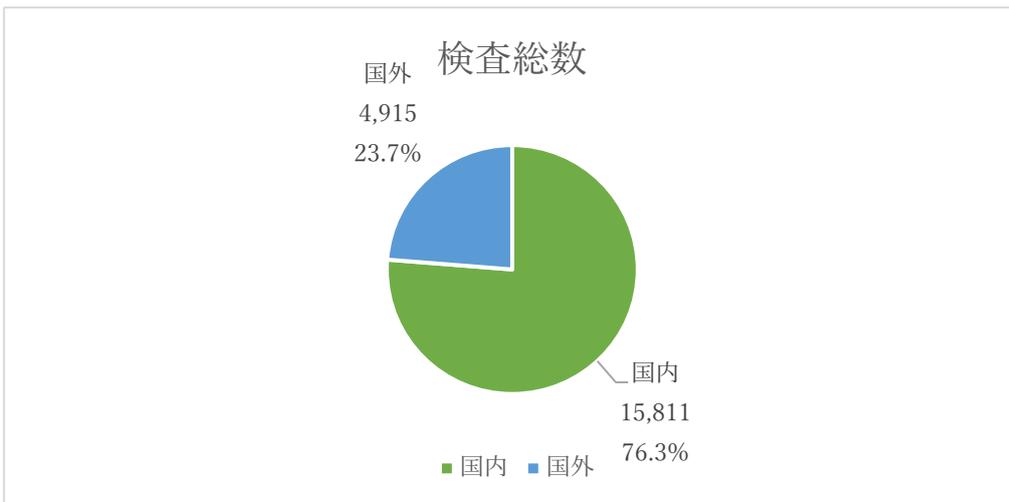
【図3】



【図4】



【図5】



【図6】

